

# 視聴覚教育

NO.347

発行日 20.11.10

発行 岡崎市AVL

編集 現職研修委員会  
学習情報部

## 視聴覚機器保有調査の報告

学習情報部

研修部会では、

平成二十年七月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。

調査の内容は「機器の保有状況」「購入を希望している機器」「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」の三項目である。詳細は年度末に刊行される『岡崎の視聴覚教育（第四十号）』に掲載されるが、ここで

主なデジタル機器の平均保有数【表1】（1校あたり）

機器名	小学校	中学校	小中全体
DVD プレーヤー	3.9	6.9	4.8
DVD レコーダー	0.7	1.3	0.9
デジタルビデオカメラ	3.0	3.8	3.2
デジタルスチルカメラ	26.8	23.2	25.8
MD 付ラジカセ・コンボ	6.8	6.7	6.8
ビデオプロジェクター	2.4	2.4	2.4

ポータブルタイプ、VHSとのダブルデッキも含む

学習情報部研修部会

はその概要を述べる。

主なデジタル機器の1校あたりの平均保有数は「表1」のとおりである。どの機器も必要十分な数がそろいつつあるようだ。

DVD関係では、小学校の方がやや普及が遅れているのに対し、デジタルスチルカメラは小学校の方が多い。児童が使う頻度が多いためと考えられる。

平成十七年度と比較すると主なデジタル機器の普及が一段落し、増加の傾向が緩やかになっていることが分かる。「表2」DVDについては、

平成17年度との比較（市内69校合計数）【表2】

機器名	H17	H20	伸び
DVDプレーヤー	103	328	3.2倍
デジタルビデオカメラ	159	222	1.4倍
デジタルスチルカメラ	1,530	1,779	1.2倍
MD付ラジカセ・デッキ	240	468	2.0倍
ビデオプロジェクター	108	167	1.5倍

パソコン対応のもの

**視聴覚用語**  
「プロフィール」  
Web上で自分のプロフィール（自己紹介）を作成して公開するサービス。「プロフィール」の省略した呼び方である。自己紹介のためのコミュニケーションツールとして、携帯上で人気を博し、アクセス数を伸ばすために過激な書き込みをしている場合があるなど、最近、多くのトラブルの原因になっている

VHSからの移行がやや遅れたこともあり最近でもまだ伸びているが、それ以外の機器では大幅な伸びはない。しかし、ビデオプロジェクトについては、とてもコンパクトかつ短焦点のモデルが登場していることで、普通教室での利用が増えると思込まれることから、増加傾向は今後も続くと思される。

「購入を希望している機器」では、ハイビジョンへの移行に伴い、HDDタイプのデジタルビデオカメラが多かった。従来のDVタイプのタイプが、市場では廃番になりつつあるので、今後のビデオカメラの動向が注目される。また、「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」では、ICレコーダーや書画カメラ、電子黒板、ワイヤレスアンプなどが挙げられた。

### 「視聴覚あれこれ」

#### 第12回視聴覚教育総合全国大会ならびに第59回放送教育研究会全国大会の開催

10月24日（金）・25日（土）に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）をメイン会場として、第12回視聴覚教育総合全国大会と第59回放送教育研究会全国大会が行われた。本年度は、東京都内の小学校2会場で開催が行われ、市内からも多くの方が参加した。また、各会場では平成21年度愛知大会の一次案内も配布された。



## 実践報告

### 「オンラインソフトを利用した理科部指導」

豊富小学校 教諭 園原 誠

本校理科部の活動を楽しむするために、蒲都市、生命の海科学館のオンラインソフト「トレジャープラネット」を利用してみた。

このソフトには三つの機能がある。一つ目は、岩石発掘の疑似体験である。発掘に必要な道具を選んで、世界中の発掘地へ行き、発掘場所の写真の中をクリックして岩石を探し、発掘した石の画像を集めることができる。難易度は高いが、理科部の子供たちは、互いに情報交換をしながら、岩石を集めることに夢中になれた。二つ目の内容は、地球史カレンダーである。地球の歴史を一年間で表したものであり、過去の地球や生物の様子を想像画で見ることができ、部活では、採れた化石の生きていた様子を確認するために活用したが、六年の理科でも、地球の歴史



学習資料として扱った。三つ目の内容は、標準箱と称して、集めた画像を分類しながら保存できる機能である。子供たちは、ゲームで集めた石の画像だけでなく、自分で決めたルールに従っているいろいろな画像を保存する体験をした。

その後、本物の石を見ようと科学館見学を行ったとき、子供たちのとても輝いた目が、印象的だった。

## 「レッツ・トライ」

### 中学校でも活用できる「問題データベース」

授業において生徒がどれだけ学習内容を理解しているかを知ることが重要である。そこで、毎時間、確認のために小テストを行うことが多い。また、ドリル学習をさせることも大切である。

しかし、そのためのプリント作りとなるとひと苦労である。さらに図や表を入れて作ろうとするとなおさらである。ここで、以前紹介された「問題データベース」が活躍する。この「問題データベース」は、小学校の国語・算数だけでなく、中学校の五教科分のドリル問題や確認問題、発展問題が多様に準備されている。さらに、昨年度の全国公立高校入試問題までも用意されている。

この「問題データベース」のよいところは、私たちが問題を選んでプリントを作ることができることである。これによって、授業で足りなかった部分や発展させたい部分など、私たちが問題を選んでオリジナルプリントを作ることができる。「問題データベース」は、「OKリンク」の「web教材」にリンクがあるので、そこからすぐに入ることができる。ぜひ、活用していきたいコンテンツの一つである。



(東海中学校 学習情報主任 近藤 雄一)

# ライブラリーだよ

## 第6回ふるさと岡崎

### メディアコンクールのお知らせ

今年度の「ふるさと岡崎メディアコンクール」の作品募集の受付が、11月17日(月)から始まり、3つの部門に多くの作品の応募をお待ちしています。ぜひ、ご参加ください。ライブラリーHP [www.oavt.jp/](http://www.oavt.jp/) に応募表があります。



## 平成20年度上半期

### 教材・機材貸し出し状況

・教材	学校教育	789件
	社会教育	800件
	合計	1589件
・機材	学校教育	562件
	社会教育	1173件
	合計	1735件

以上のような貸し出し状況でした。これからも多くのご利用をお願いします。なお、プロジェクトなど使用頻度の高いものについては、お早めにライブラリーまでお問い合わせ下さい。